

● 総 説 ●

[シリーズ：移植医療と組織適合性]
第3回
臓器移植における免疫寛容の基礎と臨床

村上 徹, 河合 達郎

マサチューセッツ総合病院外科ハーバード大学医学部

要約：移植医療において、移植臓器に免疫寛容を誘導することは究極の目標といえる。これまでマウスなど小動物の基礎実験をもとに、大動物でも寛容導入の試みが様々な方法を用いて行われてきた。最近、ようやくサルで免疫寛容誘導の報告もみられるようになり、ドナー骨髄細胞移植による mixed chimerism を基礎とした方法では臨床での寛容誘導の成功例もみられるようになった。今後はさらに多様な方法で免疫寛容誘導が臨床で試みられるようになると予測される。

キーワード：免疫寛容, ドナー骨髄細胞移植, mixed chimerism, 臨床応用